

環境活動レポート



対象期間：平成 24年 6月 ～ 平成 25年 5月

(作成日:平成 25年 10月 19日)

株式会社 南建設

株式会社南建設

I. 環境方針

〈環境理念〉

株式会社南建設は昭和25年創立以来、「人と自然にやさしい街づくりを考え、快適で豊かな地域社会の実現に寄与する」を柱とし、歩みつづけてきました。地域社会との協和を図り、従業員一人一人が環境に配慮した行動を実践し、環境負荷が少ない事業活動及び環境保全活動に積極的に取り組みます。

〈環境保全への行動指針〉

- ① 電力・化石燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
- ② 一般・建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルに取り組み、適正処理に努めます。
- ③ 水の使用量(排水量)の削減に努めます。
- ④ 地域や外部機関との交流を積極的に行い、環境社会活動に貢献します。
- ⑤ 環境関連法規制や当社が約束したことを厳守します。
- ⑥ この環境方針を全従業員に周知し、環境保全の意識の向上に努めます。
- ⑦ 製品・資材等のグリーン購入推進に努めます。
- ⑧ 使用資材の化学物質の適正な管理に努めます。

制定日：平成22年 6月 1日

改訂日：平成24年 1月 6日

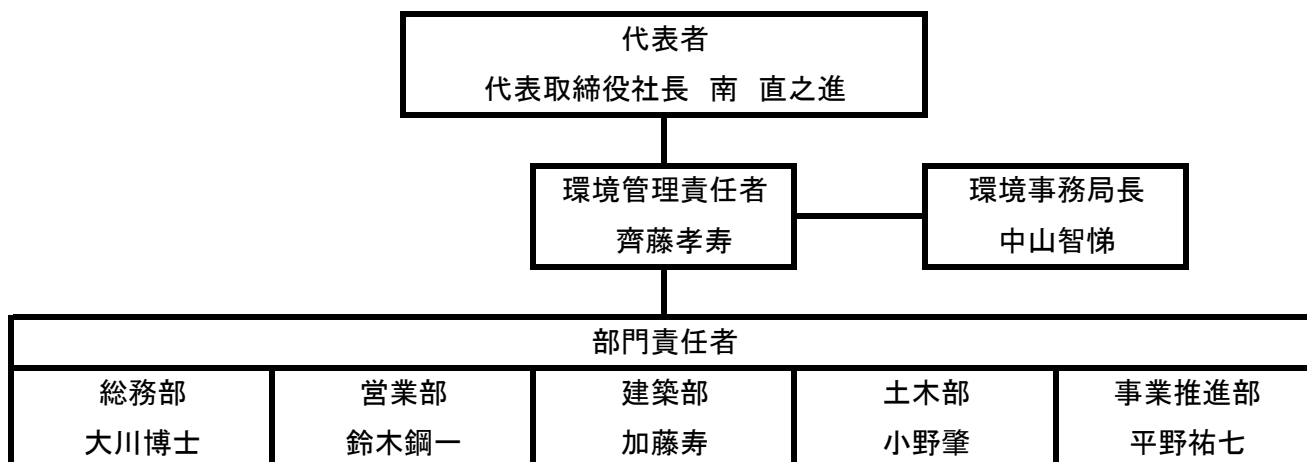
代表取締役社長

Ⅱ. 組織の概要

- 会社名：株式会社 南建設
- 代表者：代表取締役社長 南 直之進
- 住所：〒036-8052 青森県弘前市堅田一丁目1番地4
- TEL/FAX：0172-36-7000 / 0172-32-8558
- 環境管理責任者：齊藤 孝寿 連絡先 同上
- 設立：昭和25年4月
- 建設業許可：青森県知事 第2421号
特定:土木工事/建築工事/とび・土工工事/屋根工事/鋼構造物工事/舗装工事/しゅんせつ工事
防水工事/水道施設工事
一般:管工事/造園工事
- 建築士事務所：株式会社南建設一級建築士事務所 青森県知事 第204号
- 役職員数：59名
- 売上高：2,059,462千円（平成25年5月期）
- 資格者
 - ・一級建築士 2名
 - ・一級建築施工管理技士 13名
 - ・一級土木施工管理技士 22名
 - ・一級建設機械施工技士 1名
 - ・二級造園施工管理技士 1名
 - ・二級建築士 9名
 - ・二級建築施工管理技士 3名
 - ・二級土木施工管理技士 7名
 - ・二級建設機械施工技士 7名
 - ・二級建設業経理事務士 6名

● 対象範囲

本社	青森県弘前市大字堅田一丁目1番地4	延床面積	731.01m ²
第2機材センター	青森県弘前市大字堅田一丁目1番地22	延床面積	1,770.90m ²
第3機材センター	青森県弘前市大字堅田二丁目2番地9		
第5機材センター	青森県弘前市大字堅田二丁目2番地17		
鉄工所	青森県弘前市大字堅田二丁目3番地7	延床面積	951.00m ²

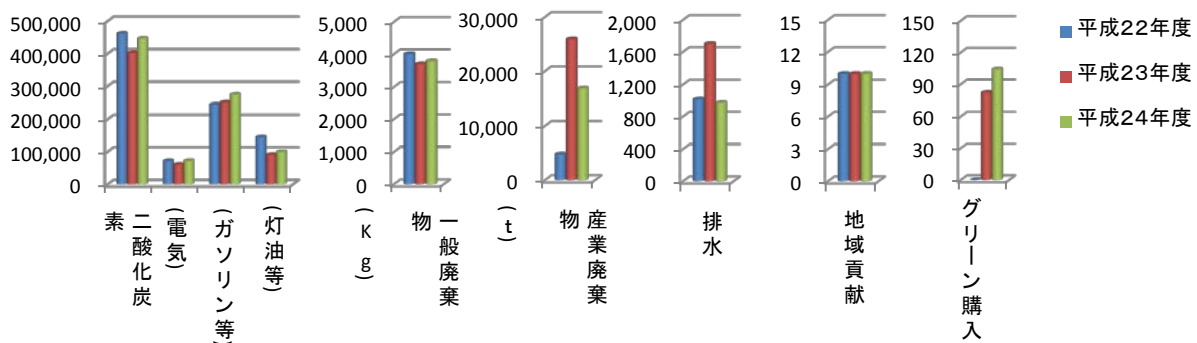


Ⅲ. 環境目標とその実績

1. 主な環境負荷の実績

【表1】…主な環境負荷等の実績

項目		単位	平成22年度 (H22.6月～H23.5月)	平成23年度 (基準年度) (H23.6月～H24.5月)	平成24年度 (H24.6月～H25.5月)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素計	Kg-CO ₂ /年	461,764	402,480	446,367
	・電力の二酸化炭素排出量		72,023	60,889	72,216
	・ガソリン・軽油等の二酸化炭素		244,556	250,812	274,400
	・灯油、LPG等の二酸化炭素		145,185	90,779	99,751
廃棄物排出量	一般廃棄物	t/年	4	4	4
	産業廃棄物		4,749	25,885	16,807
総排水量	総排水量	m ³ /年	1,016	1,701	972
地域貢献活動の実施	地域貢献活動の実施	回/年	10	10	10
グリーン購入	環境物品の購入促進	万円/年		82	104
化学物質	化学物質の管理推進			適正管理・定期確認	適正管理・定期確認



2. 環境目標の設定

当社では、平成23年6月～平成24年5月までを基準年度として平成26年度までの環境目標を、それぞれ【表2】のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

当社の決算月に合わせ、毎年6月～翌年5月までの1年間を年度としております。

【表2】…基準年度(平成23年度)比の削減(増加)率(%)

項目		平成24年度 (H24.6月～H25.5月)	平成25年度	平成26年度	中長期目標 (平成28年度目標)
二酸化炭素 排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
	産業廃棄物の削減	△2.0%	△4.0%	△6.0%	△10.0%
総排水量の削減	総排水量の削減	△1.0%	△2.0%	△3.0%	△5.0%
地域貢献活動の実施	地域貢献活動の実施	+10.0%	+15.0%	+20.0%	+30.0%
グリーン購入	環境物品の購入促進	+5.0%	+10.0%	+12.5%	+17.5%
化学物質	化学物質の管理推進	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。			

3. 環境目標の実績

当社における、平成24年6月から平成25年5月までの実績についての評価結果を報告いたします。

【表3】…当該年度の環境目標の達成状況等

項目		単位	基準年実績 (平成23年度)	平成24年度			環境目標の 達成状況
				削減(増加)率	目標値	実績値	
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素計	Kg-CO2/年	402,480	△1.0%	398,455	446,367	×
	・電力の二酸化炭素排出量		60,889	△1.0%	60,280	72,216	×
	・ガソリン・軽油等の 二酸化炭素排出量		250,812	△1.0%	248,304	274,400	×
	・灯油、LPG等の 二酸化炭素排出量		90,779	△1.0%	89,871	99,751	×
廃棄物 排出量	一般廃棄物	t/年	4.0	△1.0%	4.0	4.0	○
	産業廃棄物		25,885	△2.0%	25,367	16,807	○
総排水量	総排水量	m ³ /年	1,701	△1.0%	1,684	972	○
地域貢献 活動の実施	地域貢献活動の実施	回/年	10	+10.0%	11	10	△
グリーン購入	環境物品の購入促進(基準年 平成23年度)	万円/年	82	+5.0%	86	104	○
化学物質	化学物質の管理推進			化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。			○

※ 環境目標の達成状況 … ○:目標達成 △:基準値より減少(増加) ×:目標未達成

(注)二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.429kg-CO2/kwhです。

Ⅳ. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 環境活動計画、取組結果とその評価

【表4】…主な環境活動計画の内容

項目		活動内容	評価	取組結果と今後の方向
二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	・会社内の空調、電気の削減に努める ・室内温度の管理(冷房、暖房共) ・電気はこまめに消灯(昼休み等) ・O・A機器等の電源オフの確認(退社時等) ・省エネルギー型設備を積極的に導入 ・太陽光パネル設置の検討	△	節電に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。現場数・場所により大きく変動。
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	・エコドライブの励行 ・急発進・急加速の排除 ・停車時のアイドリングストップ ・エアコン等控えめ使用 ・タイヤ空気圧等適正な車輛の整備 ・作業効率の良い配車手続き ・エコカー導入の検討	△	燃費等に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。工事種別・場所により大きく変動。
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	・会社内の空調の削減に努める ・室内温度の管理(暖房) ・冬期工事時間の短縮に努める	△	削減に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。現場数・場所により大きく変動。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	・印刷物の裏面使用 ・会議用資料や事務手続書類の簡素化 ・シュレッダーの使用目的を限定 ・使用済み封筒の再利用 ・分別回収の徹底	○	ゴミ削減に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続
	産業廃棄物の削減	・ゴミの分別徹底、資源ゴミ徹底分別 ・資源ゴミの適正処理 ・再利用、分別、リサイクルに取り組む	○	ゴミの分別・適正処理は徹底している。工事種別により大きく変動。
総排水削減	総排水量の削減	・節水呼びかけ及び掲示 ・水道配管の定期点検(漏水等)	○	節水に対する従業員の意識定着。引き続き活動継続。工事種別により大きく変動。
地域貢献活動の実施	地域貢献活動の実施	・事務所及び現場廻りの清掃活動 ・毎月のゴミ拾い実施 ・イベント毎の清掃活動実施 ・地域ボランティア活動への参加	○	毎月のゴミ拾い実施。イベント前のゴミ拾い実施
グリーン購入推進	環境物品の購入促進	・グリーン購入(事務用品)物品の数値把握 ・グリーン購入(事務用品)の徹底	○	グリーン商品の購入徹底。
化学物質の低減	化学物質の管理推進	・化学物質を適正に管理し、定期的に確認する	○	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。

※ 取組結果の評価 … ○:評価できる △:まずまず評価できる ×:評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減
現場数や工事場所により目標の設定が難しいが、取組への意識は定着しているので活動を継続していきたいと思います。 突発的な事項(現場の工事種別や工事場所)に関しては、目安となる指標を作成できればと考えています。
(2) 廃棄物排出量の削減
(1)に同じ。
(3) 総排水量の削減
(1)に同じ。
(4) 地域貢献活動の実施
今後も、地域イベント等機会があれば積極的に活動していきたいと思います。
(5) グリーン購入
事務用品に関しては、グリーン購入を徹底していきたいと思います。
(6) 化学物質
化学物質を適正に管理し、定期的に確認したいと思います。

3. 環境活動及び地域貢献活動の状況



V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の取組も3年目になり、昨年まで徐々に目標値に向かっていましたが、今年は現場数の増加もあり数値的に目標達成とはなりませんでしたが、しかし、従業員の取組への意識は定着しているので、引き続き継続していきたいと思います。

現場の工種・規模・場所等に左右されやすい項目については、引き続きデータの収集を行い、目安となる指標を作成していきたいと思います。